



MBT NEWS LETTER

第358号
'25/08/12

< MBTコンソーシアム通信部会からお知らせ >

8/23,24「医療モビリティ博2025 in 愛知」に参加します！ 超高齢社会の医療課題解決、災害時の医療支援に有効な 各種医療モビリティサービスが展示される予定です。

- ・超高齢社会が進展する中、山間地やへき地等において、更には都市部でも移動困難な高齢者が増加し、地域住民の医療アクセスが大きな問題となってきました。
- ・医療モビリティとは、このような国民の医療アクセスにおける諸課題を解決するため、**移動手段（モビリティ）と情報通信技術（ICT）を融合**させ、いつでも、どこにいてもすべての国民が、等しく適切な医療サービスを受けられるようにする新しい医療の形です。
- ・また、医療モビリティは、大災害時の医療支援にも有効です。
- ・今回開催の「医療モビリティ博2025 in 愛知」は、医療モビリティに関わる業界関係者が、それぞれの医療モビリティサービスを展示し、その重要性を国や自治体等にPRすることを目的としています。
- ・MBTコンソーシアム通信部会では、これまでに奈良県防災総合訓練で会員間の保有技術やノウハウを組み合わせ**て新しい医療モビリティの姿を提案**してきました。そして今回は、その目的に共感して展示やデモで参加を決めたものです（展示内容は下図を参照）。
- ・「医療モビリティ博2025 in 愛知」の詳細は下記URLやQRコードからご確認下さい。参加費は無料です。関心をお持ちの多くの方々のご参加をお待ちしています。

奈良県立医科大学MBTコンソーシアム/奈良先端科学技術大学院大学/
株式会社タカゾノ/株式会社M-aid

奈良県立医科大学MBTコンソーシアム、奈良先端科学技術大学院大学、株式会社タカゾノ、株式会社M-aidの4者は、医療MaaS車両・移動薬局車・通信車両を連携させた次世代の災害医療モデルを展示します。診療・服薬支援・情報連携を一体化し、被災地でも切れ目ない医療提供を可能にします。本モデルは2024年10月の奈良県総合防災訓練でも公開され、実用性がデモンストレーションされました。



「医療モビリティ博2025 in 愛知」
詳細は下記HPでご確認を・・

<https://www.medicalmobility.jp/>



←奈良医大・MBTコンソーシアムの
展示内容
(「医療モビリティ博2025 in 愛知」HPから抜粋)

MBTコンソーシアムからお知らせ

新たに岸本剛清氏（富士通Japan ㈱）が理事に就任予定

- ・MBTコンソーシアム理事の長尾勇一氏（富士通Japan ㈱）から社内人事異動に伴い辞任届が提出され、新たに岸本剛清氏が理事会承認を得て理事就任の予定です。
- ・これより今後のMBTコンソーシアム理事会の構成は右表のようになります。

役職	所属	氏名	
理事長	奈良県立医科大学	細井 裕司	
理事	㈱健康都市デザイン研究所	井垣 貴子	
理事	クオール㈱	柄澤 忍	
理事	富士通Japan株式会社	岸本 剛清	新任
理事	関西電力㈱	中村 裕治	
理事	奈良県庁	中岡 正一	
理事	橿原市役所	近澤 紀文	
理事	奈良県立医科大学	木村 茂和	
監事	㈱南都銀行	東 晋也	

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山

TEL: 0744-29-8853 (直通)、FAX: 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp